インライン粘度センサー　311

クイック脱着クランプ式粘度計

SPC/L 311型クイック脱着クランプ式センサーは高頻度の取り外しクリーニングを必要とするプロセスライン用例に最適です。

動作原理

SPC/L311型センサーはインラインまたはタンク装着型の粘度計で、プロセス流体の粘度および温度の連続的な計測・記録が可能です。
原理的には、ASTM準拠の「往復ピストン技術」が適用されており、シンプル、小型で堅牢性も兼ね備えております。この原理は一対のコイルが交互に一定の磁力でピストンを往復運動させ、独自のエレクトロニクス回路で各往復サイクルに要する時間要素を分析、それを絶対粘度に換算します。

ピストン上方に位置するデフレクター（整流板）により流体は計測チャンバー内に誘導されます。この整流作用と連続的なピストン運動によるポンプ効果と、それによって生じるチャンバー内壁面に対する継続的な掻き落とし効果が相まって、チャンバー内のサンプル液を常時新鮮に保ちます。内蔵の温度センサー（RTD）は計測チャンバー内の実温度データを常時出力します。

SPC/L311型センサーはTri-Clover®社のクイック脱着用クランプ（Tri-Clamp®）に適合するサニタリー用フェルール付のセンサーです。クランプおよび適合ガスケットと共に納入されます。

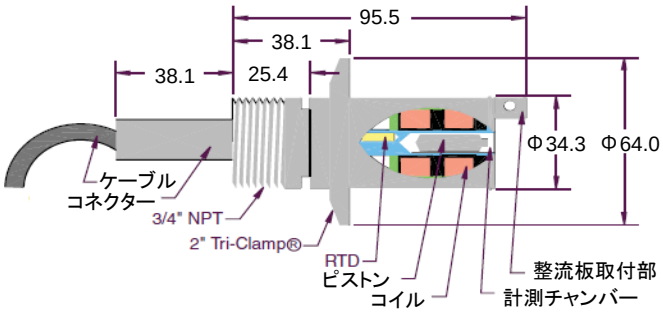
粘度範囲　0.2～20,000cP　または相当するcStを13段階の粘度レンジにより計測可能範囲としてカバーしております。流体のセンサー部における最大流速は3 m/秒までです。

注：　ATEX 防爆型はすべて SPL 型となります
（SPC=コネクタータイプ、SPL=結線タイプ）

特徴

- **高精度、高信頼性**
- **堅牢な総ステンレス鋼構造**
- **簡便な設置とメンテナンス性**
- **可動素子は一部品のみ、シール部分なし**
- **実績で実証された技術**
- **温度計測用の埋め込み型RTDセンサー内蔵**
- **2” Tri-Clover®クランプ（または相当品）接続**
- **UL防爆**：CLASS 1, DIV. 1, GROUP C & D
- **ATEX防爆**：EEx d IIC T2, -20C≤Tamb≤190C

標準粘度計測法ASTM D7483に準拠。
計測値はASTM D445データと相関します。



仕様

粘度範囲	0.2 ～ 20,000 cP
ピストンレンジ	0.2 – 2cP, 0.25 – 5cP, 0.5 – 10cP 1 – 20cP, 2.5 – 50cP, 5 – 100cP 10 – 200cP, 25 – 500cP, 50 – 1,000cP 100 – 2,000cP, 250 – 5,000cP 500 – 10,000cP, 1,000 – 20,000cP
粘度精度 *（注 1）	±1.0% FS (VP2000 との組み合わせ)
繰り返し精度	±0.8%（表示値に対して）
温度センサー	4 線式内蔵プラチナ RTD センサー
接液部材質	316L および 430 ステンレス鋼
許容粒子サイズ	25 – 360 ミクロン（レンジによる）
最大雰囲気温度	190℃
最大使用圧力	7 MPa
標準ケーブル長さ	4.57m
対応コントローラー	ViscoPro/ViscoFuel 2000/1600

**（注 1）:500 – 10,000cP, 1,000 – 20,000cP は±5.0% FS*

JAPAN CONTROLS CO., LTD.　7-19, AKASAKA 1-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052　BRANCHES: OSAKA, NAGOYA
PHONE: 03-3584-4251, FAX:03-3585-9603　E-mail: jccsales@jcct.co.jp　URL: http://www.jcct.co.jp